

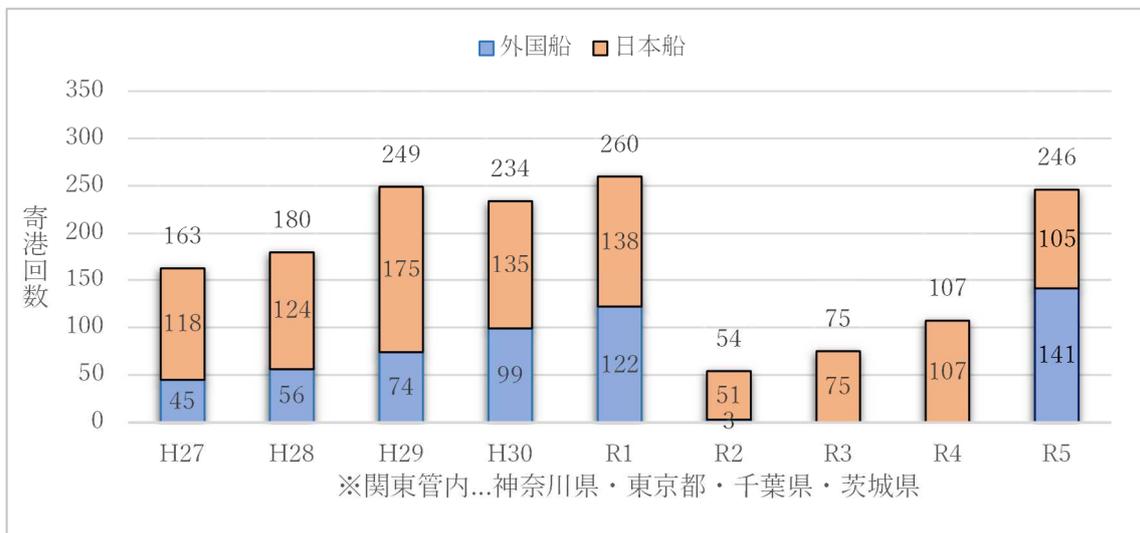
Cruise Report

関東地方整備局（港湾空港部）

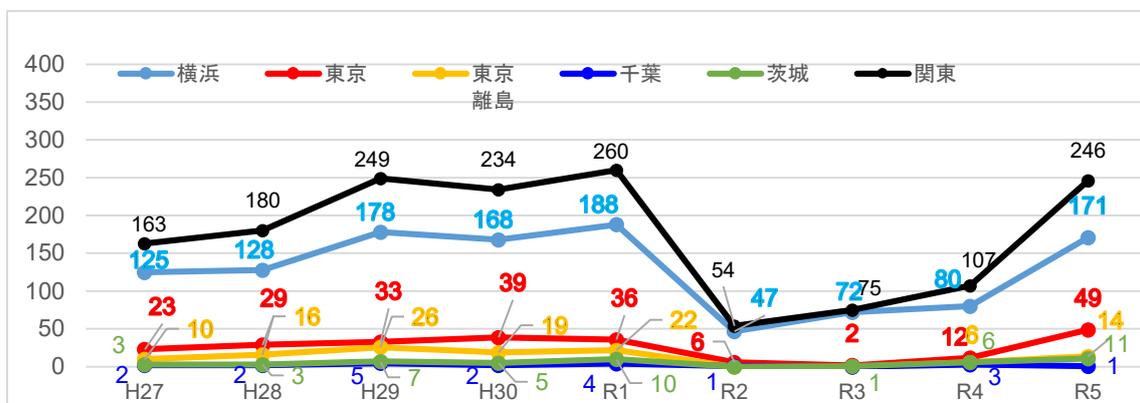
クルーズ振興・港湾物流企画室では、「クルーズの振興に関すること」に取り組んでいます。

「クルーズ船寄港回数」(H27～R5)

我が国では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、令和2年3月以降、国際クルーズの運航は停止していましたが、令和5年3月から本格的に国際クルーズの運航が再開しました。令和5年の外国船寄港回数は141回となり、令和元年の122回を上回りました。



また、令和2年9月10日、新たな首都の玄関口・東京国際クルーズターミナルがオープンしました。コロナが明け、関東圏内の寄港数増加を後押しする一因となっています。



初寄港の実績



昨年6月19日に横浜市の新港ふ頭に「ハンセアティック・ネイチャー」の初入港がありました。今回のツアーでは、五島列島、奄美大島、屋久島、伊豆大島、宮古といった自然豊かな島々を経由地とした探検クルーズとなっています。このような船舶は「エクスペディション船（探検船）」と呼ばれており、客室は全て海側で広く、南極や北極でのクルーズに対応できる耐氷構造を持つことが本船の特徴となっています。そのため、これまでのクルーズ船では寄港できなかった多くの小さな港にも寄港し、沢山の乗客を乗せて船旅をしています。

「クルーズ船寄港実績」(R5)

昨年は、関東管内（神奈川県・東京都・千葉県・茨城県）の港湾では8か所にクルーズ船の寄港がありました。特に、外国クルーズ船が寄港する港湾数は7港となっており、今年は更なる増加に期待されます。

